



社会福祉学研究科（博士〔後期〕課程）の教育目標と特色

博士課程は、福祉・保健・医療の分野において既に活躍している修士課程修了者の継続教育と高度な専門的職業人の育成、大学・短期大学や社会福祉士および介護福祉士養成校等において活躍が期待される福祉系教育者・研究者の育成を目的とする。福祉・保健・医療の分野における高度な専門的職業人の養成および福祉系教育者・研究者等の後継者養成にあたっては、社会福祉学に関する高度な知見のみならず、臨床心理学等の隣接領域との学際的な知見が不可欠である。博士課程においては、社会福祉学に関する特殊研究・演習のみならず隣接領域の諸科学に関する特殊研究と特殊演習を配置し、研究課題を多面的かつ学際的に研究する能力の涵養を図る。

博士課程に入学するに際して、入学者は研究課題および研究テーマに関する詳細なレポートを提出し、研究テーマに最も適切な指導教授を決定した後、指導教授はテーマを研究する上で必要と考えられる授業科目の履修の指導を行なうとともに、博士論文作成の指導に至るまで、きめ細かく一貫して行なう。研究指導にあたっては、研究テーマに関する国内外の資料・文献についての研究指導を行ない、特に外国の論文・資料・文献の解題、講読指導を重視し、海外文献の読解力を身につけるよう指導を行う。さらに、学会等における研究成果の発表指導を行ない、大学院においても研究会等の研究発表の場を積極的に設けて、プレゼンテーション能力の向上を図る。

博士課程は、社会福祉学専攻（修士課程）を基礎とし、継続的に教育・研究を行なう授業科目を配置している。「特殊研究」として「社会福祉理論特殊研究」、「ソーシャルワーク理論特殊研究」、「地域福祉特殊研究」、「家族社会学特殊研究」、「社会保障法特殊研究」、「高齢者福祉特殊研究」、「リハビリテーション特殊研究」、「障害者福祉特殊研究」、「精神保健福祉特殊研究」、「障害児心理学特殊研究」、「社会心理学特殊研究」、「臨床社会心理学特殊研究」、「臨床心理学特殊研究」を配置し、それぞれの領域における国内外の先端の研究動向、研究課題について研究する。「特殊演習」では、きめ細かい指導を通して、文献研究能力、プレゼンテーション能力、論文作成能力等の養成を重視する。



研究指導教授の決定と研究指導について

研究指導教授の決定（1年次）

- (1) 研究計画書提出
研究課題・研究内容・研究方法等について5,000字程度にまとめた「研究計画書」を、2017年5月2日（火）午後4時までに教育支援課に提出すること。
- (2) 研究指導教授の決定
研究科委員会において、研究計画書の内容に適切な指導教授（博士〔後期〕課程専任教授）を決定する。なお、研究課題・研究内容・研究方法等により副指導教授が必要な場合は、副指導教授を得ることができる（原則、大学院授業科目担当専任教員）。

研究指導の内容

- (1) 研究課題・研究内容・研究方法等に関する国内外の資料・文献についての研究指導を行う。さらに、外国の論文・資料・文献の解題、講読指導をも重視し、海外文献の読解力を身につける。
- (2) 専任教員を中心として実施される研究会等に正規メンバーとして参加することができる。
- (3) ティーチング・アシスタント（TA）として学部学生の演習指導・実習指導等に携わり、研究・教育の基礎的力量を修得する。
- (4) 学会等の研究発表に際してのプレゼンテーション能力を修得するとともに、学会へできるだけ多く参加する。
- (5) 研究課題・研究内容・研究方法等に応じて、必要な研究科授業科目を履修する。

研究論文の発表

研究計画に基づく研究成果を関係学会で1回以上報告するとともに、報告内容を研究論文としてまとめ、関係学会機関紙、本学『大学院論集』等に発表すること。

2017年度 社会福祉学専攻(博士〔後期〕課程)開講科目

履修 コード	授 業 科 目 名	単位数開講年次	担 当 者	備 考	
		1～3年次			
	社会福祉理論特殊研究	4		本年度開講せず	いずれかの研究及び演習を選択必修とし、2科目8単位を修得すること
	社会福祉理論特殊演習	4		本年度開講せず	
	ソーシャルワーク理論特殊研究	4		} 2016年度以降入学生対応 } 本年度開講せず	
	ソーシャルワーク理論特殊演習	4			
9175	地域福祉特殊研究	4	杉岡 直人		
9176	地域福祉特殊演習	4	杉岡 直人		
9177	家族社会学特殊研究	4	KU.ネソジュティール		
9178	家族社会学特殊演習	4	KU.ネソジュティール		
	社会保障法特殊研究	4		本年度開講せず	
	社会保障法特殊演習	4		本年度開講せず	
	高齢者福祉特殊研究	4		本年度開講せず	
	高齢者福祉特殊演習	4		本年度開講せず	
	リハビリテーション特殊研究	4		本年度開講せず	
	リハビリテーション特殊演習	4		本年度開講せず	
9185	障害者福祉特殊研究	4	田中耕一郎		
9186	障害者福祉特殊演習	4	田中耕一郎		
9187	精神保健福祉特殊研究	4	中村 和彦		
9188	精神保健福祉特殊演習	4	中村 和彦		
9189	障害児心理学特殊研究	4	豊村 和真		
9190	障害児心理学特殊演習	4	豊村 和真		
9191	社会心理学特殊研究	4	栗林 克匡	2015年度以降入学生対応	
9192	社会心理学特殊演習	4	栗林 克匡	2015年度以降入学生対応	
	臨床社会心理学特殊研究	4		本年度開講せず	
9194	臨床社会心理学特殊演習	4	今川 民雄	2019年度以降開講せず	
9195	臨床心理学特殊研究	4	田澤 安弘		
9196	臨床心理学特殊演習	4	田澤 安弘		
〔履修方法〕 社会福祉学専攻（博士〔後期〕課程）の修了の認定を受けるためには、備考欄に定めるところに従い8単位を修得すること。 〔学位授与要件〕 大学院博士〔後期〕課程に3年以上在学し、計8単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。					

履修方法について

- 1) 3年間において最低8単位を履修すること。
- 2) 研究指導を受ける教授の「特殊研究」及び「同演習」を以下の要領で履修し、試験に合格した場合に8単位が与えられる。
「特殊研究」を1年次に履修すること。(4単位)
「同演習」を1年次から3年次に至る3年間にわたって履修し、指導教授の研究指導を受けること。(4単位)
- 3) 上記の8単位の他に、指導教授以外の「特殊研究」を2年次あるいは3年次に履修することができる。ただし指導教授以外の「特殊演習」を履修することはできない。